

令和7年度 市の予算

令和7年度当初予算が決まりましたので、その概要をお知らせします。

一般会計予算は、234億9,061万4千円で、前年度当初予算と比較すると約18億8千万円増えました。

問合せ 市財政課財政係 ☎22-2111 内線3225

令和7年度
一般会計
当初予算

234億9,061万4千円

歳入 太陽光発電設備の新設などに伴い市税が約3億8千万円の増額となっているほか、光熱水費や人件費の上昇などに伴い普通交付税の増額を約8億円見込んでいます。

歳出 災害公営住宅建設事業の完了に伴い、土木費が約9億7千万円の減額となった一方で、公開型地理情報システム構築事業などに伴い総務費が約4億円の増額、孵卵場建設事業などに伴い農林水産業費が約4億7千万円の増額となっています。

災害からの復興が急がれる中、物価高騰の影響を受け、市の財政も厳しい状況が続いています。限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営に努めていきます。

用語解説

自主財源：市町村が自ら確保できる財源。自主財源が多いほど財政の安定性が高い。

依存財源：国や県から配分される財源。

市税：市民税・固定資産税・軽自動車税など、市民や事業所から納められる税金。

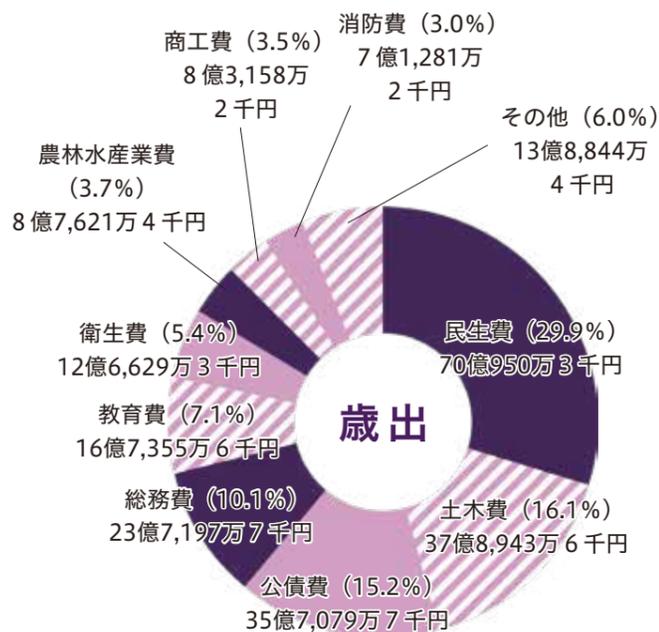
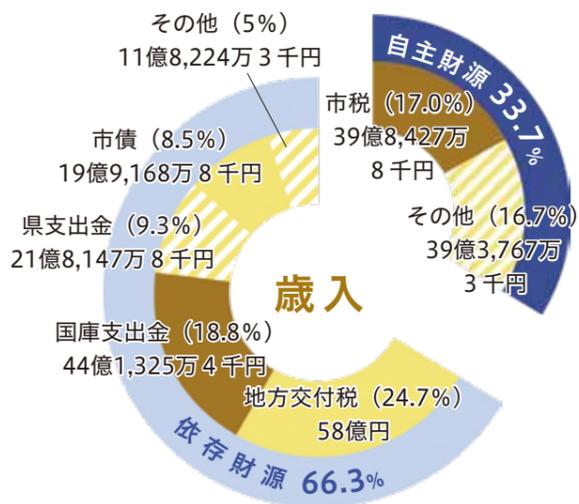
地方交付税：どの自治体でも一定の行政サービスを提供できるように、国が財政状況に応じて配分するお金。

国庫支出金：特定の事業を行うため国から交付されるお金。

県支出金：特定の事業を行うため県から交付されるお金。

市債：市が事業を行うため借り入れる借金。

公債費：借り入れた市債のうち、後年度に支払う1年間の元金、利子、償還費など。



令和7年度一般会計当初予算書

令和7年度の一般会計当初予算書は、市ホームページに掲載しています。



▲市ホームページ

令和7年度 主な事業

被災市街地復興推進事業



市街地エリアと青井地区エリアで、「被災者のくらし再建とコミュニティの再生」「力強い地域経済の再生」「災害に負けないまちづくり」の3つの柱を基に、復興を推進していきます。

小・中学校情報端末整備事業



市内小・中学校の学習用情報端末の更新を行い、ICT（情報通信技術）環境整備を進めていきます。※更新は小学3年生以上と中学生（小学1・2年生は、令和6年度に新規で整備）

SL人吉動態展示に必要とする経費



軌道延長工事や格納庫建設のための基本調査委託料など、SL人吉の動態展示に向けて取り組んでいきます。

令和7年度 一般会計予算の主な使い道

民生費 子どもや高齢者などの支援に使うお金	
子ども・子育て新支援事業（保育所及び認定子ども園運営費）	17億1,407万5千円
就学前教育・保育施設整備交付金事業	7,179万5千円
被災者支援対策事業	4,058万円
土木費 道路や橋などの整備や維持管理などに使うお金	
被災市街地復興推進事業（中心市街地地区及び青井地区）	13億7,513万7千円
都市防災総合推進事業（道路）	7億7,106万2千円
河川等整備事業	2億5,120万円
木造仮設利活用住宅整備事業	1億2,029万円
総務費 市の全般的な運営管理に使うお金	
公開型地理情報システム構築等業務委託料	1億9,000万円
まちなか創生事業推進業務委託料	5,000万円
SL人吉動態展示に要する経費	4,626万4千円
教育費 小・中学校の教育や社会教育などに使うお金	
小学校施設整備事業	1億2,309万円
生徒用情報端末備品購入費	7,267万9千円
児童用情報端末備品購入費	6,285万9千円
中学校施設整備事業	5,763万1千円
人吉城歴史館管理運営費	1,374万円
衛生費 健康診断やごみ処理などに使うお金	
人吉球磨広域行政組合負担金（し尿・ごみ処理施設・葬斎場）	5億9,699万2千円
新生児聴覚検査事業	64万8千円
遠方分娩施設利用交通費等助成金	58万8千円
農林水産業費 農業・林業振興に使うお金	
強い農業づくり総合支援交付金事業	5億円
水路改修工事	1,410万円
商工費 商工・観光振興に使うお金	
商工業振興一般事業	2,596万5千円
地域活性化起業人事業	690万円
ライトアップ事業委託料	250万円
消防費 消防組合負担金、防災対策などに使うお金	
防災行政無線更新委託料	1億2,650万円
災害復旧費 災害復旧に使うお金	
社会教育施設災害復旧事業（人吉城跡）	3,535万9千円